

令和5年度議会報告会（質疑、意見・要望）

福祉・医療関係

質問 令和4年度の原町赤十字病院の経営は黒字だったが、町が補助金を出しているのは適切なのか。また、議会としてはどう考えているか。

回答 地域医療の中核である原町赤十字病院への補助は、必要なものとして理解しています。町民の健康寿命延伸を重要視しています。

回答 例年原町赤十字病院に4400万円を補助していますが、国の制度で今回の補助は国の負担が8割で町の持ち出しが減り、当町も助かっているという側面もあります。

【町】

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により一時的に黒字になりましたが、今後は赤字になることが予想されます。令和4年度の原町赤十字病院への助成額の総額は39,844千円であり、その内の一部が特別交付税として国から交付されます。原町赤十字病院を存続させるには必要不可欠な助成だと考えています。

質問 坂上地区の診療所が存続できるよう議会として町に支援をお願いしてほしい。また、健康維持のためにも小学校跡地にグラウンドゴルフ場を作ってほしい。

回答 以前文教厚生常任委員会で坂上診療所に視察に行きましたが、運営状況等を出してもらえなかったため状況把握ができていません。地域の重要な医療機関であると認識しているので、町におつなぎします。

【町】

大戸診療所は医療法人であり、公的病院である原町赤十字病院や東吾妻国民健康保健診療所とは異なります。坂上地区の重要な医療拠点として認識していますが、町としては今のところ支援については考えていません。

旧坂上小学校跡地につきましては、今後さかうえ拠点バス停の整備が完了した段階で、跡地利用を改めて検討していく予定です。

要望 福祉の方にもう少し力を入れて欲しい。駅北側のロータリーより階段で上がるのが、車椅子で上がれないので考えてみては。

【町】

ご要望の内容は、その他町道204号線（5-94号橋・原町駅歩道橋）を言われていると思いますが、この歩道橋については「東吾妻町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき建設課が維持

管理を担当している全265橋の1橋となります。

なお、当該計画に基づいた令和3年度の定期点検において、橋梁全体の総合的な診断を行った結果、健全性の判定度数が低いことから、この歩道橋の補修工事に向けてJR東日本と協議を進めておりますので、ご要望の内容について、予算的な制約もございますが協議検討は行っていきたいと考えます。

要望 定期的に体操教室を実施、ウォーキングの指導等、健康寿命を伸ばすことを町で行事として組み込んで欲しい。

【町】

保健福祉課としては、「ステップ」という名称の健康増進を目的とした運動教室を月2回定期的に開催しています。社会福祉協議会が地区の要望により開催している「サロン」にも希望があれば健康運動士を派遣し、体操教室を実施しています。

社会教育課では、町内各地にコースを設定し「ノルディックウォーキング教室」を年8回開催しています。また、気軽にスポーツに親しんでいただくことを目的に「軽スポーツ講習会」も年1回開催しています。

質問 障害者差別防止について、民生委員にDET研修をするように要望したが、予算がないから研修はできませんという話だった。2024年から障害者差別解消法罰則規定も町側がどれだけ理解しているのか。障害者総合支援法改正が施行されるので、町も準備が必要ではないか。

回答 町に確認して提案します。

【町】

民生委員単独で行うのは難しいので、関係機関との調整を図り共催等何らかの形で開催できるよう検討します。

公共交通関係

質問 200円タクシーがあり便利だからという理由で、那須塩原に転出した同級生がいる。公共交通機関は町民の4.4%しか利用していない。使いやすい方法を早急に対応すべきではないか。他自治体ができていることもあるので、車の小型化など、思い切った取り組みを。

回答 地域公共交通活性化協議会で協議を重ねています。現在、昼間に坂上地区でデマンドバスを運行しています。また、スクールバスと路線バスの一部共同運行化など経費削減に向けた取り組みを進めています。坂上から長野原方面へバス路線が延伸するので、利用者の増が見込まれます。

【町】

町内路線バスについては、民間事業者により運行されていた乗合バスの廃止に伴い、バス路線の確保と町民の日常生活に必要な交通手段を維持するため、代替措置として委託路線バスの運行を行っています。

町では、令和4年度より地域公共交通計画を策定し「持続可能な公共交通ネットワークの再構築」を進めており、今後は坂上地区で実施しているデマンド型運行の検証を行いながら町内全地区への導入など、地域の状況に応じた公共交通体系の実現に取り組んでいきます。

質問 坂上はお店が1件でガソリンスタンドもない。デマンドバスもあまり利用がない。一律100円で乗れるようなバスをお願いしたい。買い物に行けない老人も増えているので、移動販売などが来られるよう補助金を提案してもらえるとありがたい。

回答 スクールバスの運営費が1億2000万円くらいかかり、年々生徒数が減っている中で、今後バスをどうするか、地域公共交通活性化協議会で協議を重ねています。200円で坂上内のデマンドバスが動くようにはなっていますが、それを全町に広げていく話になると思います。現状では、4月から大柏木路線を川原湯に延伸する計画です。

質問 200円で坂上中移動できるというが、利用者は少なく、診療所に行くのに利用するくらい。予算を当ててもらって原町行けるように仕組みを作ってもらいたい。

回答 協議会の中で、警察、国交省、各町村担当者、議員、県も、多くの関係者が協議検討しています。予算もあるので、今後の議論になりますが、町におつなぎします。

【町】

運賃及び路線の見直しについては、地域公共交通計画の基本方針で掲げている町内移動サービスの再編及び地域内・デマンドバス路線の再編について、現在の利用状況等を考慮し見直しを進めることとしております。

要望 高齢者が車の免許返納したあと、とても不便になるので（バスは利用しづらい）、ちょっとした用事（病院、買い物など）がある時に気軽にお願ひできるようなシステムを作ってほしい。

要望 高山村のように、町のバスを買い物や病院、駅などへ気軽に利用できるようにしてほしい。

要望 病院への送迎バスを出してほしい（交通弱者への支援）。

要望 終電が早いのもう少し利用しやすいよう、JRへ要望して欲しい。

要望 無料券をもらっても、温泉に行く足がない。月に2回くらいマイクロバスが出れば温泉に行ける人が増えると思う。買い物バスもありがたい。

【町】

日常生活に必要な交通手段の維持に引き続き取り組むとともに、利便性の向上など公共交通の充実を図り、将来に渡り持続可能な公共交通体系の構築を推進します。

財政関係

質問 借金返済について公債費 1 億 2 千 4 百 3 5 万円（令和 5 年度決算）とあるが、金利のみの返済か、元本返済か。決算書の余剰金の使い道は。町の財政をどのように把握し、現在の財政に対する認識はどうか。

回答 町の監査と議会の予算決算特別委員会で決算をチェックしています。町は、財政改革を進めており、将来負担比率などは改善されているという認識です。余剰金は積立金と繰越金に充てています。

【町】

令和 4 年度一般会計決算に係る公債費の 1 億 2 千 4 百 3 5 万円の内訳については元金が 1 億 1 千 6 百 5 千 2 百 4 万円、利子が 4 百 9 千 1 百 1 万円となっており、計画的に返済を進めております。決算に伴う余剰金については繰越金として翌年度の財源としております。

教育関係

質問 コンベンションの改修には、工事期間や時期は適正であったのか。不都合に感じた町民もいるので、考えてほしい。

回答 老朽化による改修で、必要なものと理解しています。

【町】

工事期間については、準備 0.5 ヶ月、足場設置 1 ヶ月、屋根補修・塗装 2.5 ヶ月、外壁補修・塗装 2.5 ヶ月、足場撤去 1 ヶ月、片付け 0.5 ヶ月、台風・猛暑による休工考慮 1 ヶ月の 9 ヶ月を設定しました。着工後は企業努力により、工事期間を短縮できました。発注期間については、屋根・外壁補修材及び塗装材の冬期施工が難しいため、4～12 月の工事は最適であったと考えています。

質問 東吾妻町には資料館や図書館が無いがどう思うか。近隣町村と比べて新聞紙面に載るような話題が少ない。

回答 要望はおつなぎしますが、資料館は予算がかかり難しいところもあります。中学生からも自主学习施設の要望があるので図書館も併せておつなぎします。

【町】

町には各地区ごとに公民館があり、小さいながら図書室があります。

利用者ニーズに合わせた図書が用意できるよう、予算の確保もしております。

図書館併設の学習施設については、利用希望者数も含め各館ごとに工夫し学習スペースを設けることも可能であると考えます。

また、資料館については町内に専門の施設はありませんが、役場2階のフロアに今月の逸品と題した、文化財のミニ展示も毎月行っており、その他にも、文化財や歴史についての質問には、担当職員がその都度対応しております。

図書館や資料館を新たに造るためには、膨大な経費がかかります。そのため、各公民館の積極的な利用や、役場庁舎内の空きスペースの利活用は大きな意味があると考えます。

規模としては小さいですが、だからこそ小回りの効く、町民のニーズに応えやすい部分もありますので、今後も工夫して対応していきたいと考えます。

質問 黒柳徹子さんを教育された小林宗作さんが亡くなられて60年。生誕130年。新井正明さんは、朝陽堂さんご親戚で画家の新井洞巖の養子の方。原町小学校に多大な寄附をした方と聞いている。朝日ナショナルの設立も彼の力。彼がなくなって20年。元県会議員の岩島の菅谷勘三郎さんが亡くなって70年。偉人を大切にし、町として記念行事などを行ってはどうか。

回答 小林宗作先生の教えを守っている国立音大附属幼稚園に議員有志で視察してきました。小林宗作先生ら偉人をしっかりたたえて受け継いでいくべきと町におつなぎします。

【町】

石坂宗作先生が当町出身で、台湾基隆市に多大な功績を残された方であるということ町民が知ったように、それぞれがどのような人物であったか、どのような功績を残されたかなど、町民への周知から始める必要があるのではないかと捉えています。

それによって、実施する事業内容、関係課についても明確化され、実施に向けて進めていけるのではないかと考えます。

水道料金関係

質問 水道料金20%アップは適正なのか。利用者のことを考えて判断してほしい。近隣自治体との差も勘案してもらいたいと思うが。

回答 上水道の管路は全長175キロメートルになり、その維持管理は使用料だけでは賅えず、一般財源から補填している状況です。

回答 基本料金が全国平均値になることで工事費の国補助率が高くなることも考えられます。議会としては全体を考えて国補助の獲得を優先し、町民の負担だけでなく、補助金を使って維持管理をする方法も視野に入れていきます。今後、上水道と簡易水道が共通料金になっ

ていく可能性もあります。

質問 水道料改定、数年前にアンケートがあったが、また値上げするのか。

回答 その時はコロナ禍にあり、燃料等物価高騰などの経済状況を見て値上げは見送った経緯があります。

【町】

12月定例会において上水道、簡易水道の料金改定の改正案が可決され、令和6年4月1日より適用されることとなりました。（議会報告会以降）

20%が適正化と問われれば独立採算の観点で見れば適正ではありません。

料金収入だけでは維持管理費、起債元金償還金等賄えていない状況であり、改定率はまだ低いと思われます。給水人口の減少、節水型衛生機器の普及により有収水量が減少している状況です。

水道の管路延長は給水人口が減少しても短くなるわけではありませんし、管路や配水池等水道施設の老朽化に伴う維持管理費は減少しません。

料金改定を行い国庫補助金が受けられることになり、老朽管の布設替工事に充当することができます。不足分については町からの一般会計からの補助金を受けられるようお願いしていきます。

簡易水道も水道事業と同様の状況です。また基本料金が水道事業の半額で差が生じている状況であり、公共サービスの観点からも上水道と同一料金としていきたいと思えます。

5年後に上水道、簡易水道の経営統一を目指しています。一つの水道事業会計とし維持管理等を行っていきたくので、利用者の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

人口問題・地域活性化関係

質問 群馬原町駅前開発について。前もアドバルーンがあがったが、その後どうなったか。前の会議では駅前も使っていいという話だったが、これからも町民にわかりやすい情報提供をお願いしたい。

回答 原町駅北旧役場跡地利活用は、賑わい、コミュニティ、医療、居住形成と大きく4つに区分して計画しています。具体的には今後いろいろ協議していき、町から提案があると思えます。

【町】

町では、東吾妻町の交流の玄関口である群馬原町駅南側地区の望ましい将来像について検討し、その成果をまちづくりのビジョンとしてまとめた「群馬原町駅南側地区まちづくり計画」を2023年3月に策定し、本地区の将来像を暮らしたい訪れたい「町の顔」となる賑わい交流エリアと定めた基本方針を計画しました。

基本方針では利用計画区域を設定し、原町駅南口から役場旧庁舎跡地付近をにぎわい交

流整備区域（重点整備地区）と決めました。役場旧庁舎跡地の計画は、取組として各種イベントなどを実施した社会実験を実施し、町民の自発的な組織活動を促しながら施設整備の取組を計画しております。

この計画は町ホームページ等で公開しています。今後は、社会実験の取組方法等を含め、その状況を町ホームページ等で公表する予定です。

質問 東吾妻町のこれからの大きな課題、人口減少について町の考えは。抜本的な方策はあるか。

回答 町では総合計画、議会では地方創生特別委員会など、さまざまな審議を経て、2040年に1万人維持という目標持っています。実際には人口減少が進んでいて、見直しは今後実情に合わせてやらざるを得ないと認識しています。

【町】

町の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の各事業を着実に推進してまいります。また、現在の総合戦略の計画期間が令和6年度までとなっておりますので、関係機関と連携し協議のうえ、次期計画を策定したいと考えております。

質問 コニファーいわびつに行く道は、大型バスが通れるように町長が決断しないのか。

回答 コニファーに入る道もコニファーができた時に杉並区が直すという話があったが、結果的に「町がやる」という話になって、財政的に行き詰まったという経緯があります。杉並区の方針でコニファーも今後どうなるかわからない状況で、町がどうするかはなかなか難しい話だと思います。

要望 コテージ、グラウンドなどがあり、あれだけの施設を作っておきながら、町が手を出せないじゃなくて、手を出せる手立てを考えてほしい。

【町】

ご質問の内容は、2級町道 紺屋町・平沢 線（L≒1500m）の一部区間を言われていると思いますが、この道路については町道として建設課が維持管理を担当しております。

なお、この町道については東京都杉並区が平成4～6年にすぎなみ自然村（現コニファーいわびつ）を建設する当時から旧吾妻町に対して拡幅要望されておりましたが、財政的な事情や町村合併などもあり、平成18～23年にかけて狭小部の拡幅改良工事を実施しました。

これにより、大型バスはコニファーいわびつまで通行していけるよう改善しております。

現在も大型バス通行時に対向車とのすれ違いが困難な箇所は一部ありますが、その手前に待避場を設けるなどして、コニファーいわびつまで大型バスに乗って団体客が訪れております。

要望 上信自動車道が開通しても、東吾妻町にとってはあまりメリットがない様に感じる。開通する前に立ち寄ってもらえる対策を本気で考えるべきでは。

【町】

東吾妻町第2次総合計画（後期基本計画 2023～2027年度）では、上信自動車道の開通に的確に対応し、将来を見据えたまちづくりとするため、重点的な取り組みと掲げています。

また、この取組は各分野の枠組みを越えて総合的かつ各課横断的に進めています。

要望 今年に限らず、里山が荒れている。クマ対策もより必要になると思われるので、狩猟者の育成等も取り組む時期になっていると思う。

【町】

平成30年度より狩猟免許及び猟銃の所持許可に係る経費の補助を行っております。

令和4年度ではワナ免許2名、猟銃の所持許可1名の方に補助を行っております。

要望 道の駅あがつま峡の指定管理については、指定管理を受けた事業者に対して、インセンティブを考えてやらないと先行見通しは明るくない。第3セクターから指定管理、PFI等への流れの中で、指定管理制度の功罪について再度検討する必要があるのではないか。

【町】

道の駅あがつま峡については、適切な管理運営を目指す中で、必要に応じて改善策を講じながら、当面は指定管理者制度による運営を継続していく方針です。令和6年4月から、道の駅あがつま峡の指定管理者が切り替わることが決定しており、新たな指定管理者となる合同会社ハルルの事業計画書では、「忍者とエンターテインメントの融合」を核とした、多岐にわたる施策展開が提案されています。この計画を実行することで、道の駅あがつま峡がより魅力的な施設となり、更なる地域振興に繋がるよう、町としてもインセンティブの重要性を意識しながら、指定管理者と連携して施設の適切な運営に努めてまいります。

要望 町をよくするのも悪くするのも議会と執行部。町民が入っていけないシステムになっているので、ある程度カリスマ性がないと前に進まない。一番大事なのはアクション。予算がないからと言われるとそれでおしまい。ぬるま湯に浸かっている状態でなくて思い切ったアクションを起こしてもらいたい。お金がないと言われるとそこから何もできない。アクションすると議論の中で何か生まれる。思い切ったこと、町民も反応する。ぜひお願いします。

【町】

第2次総合計画の基本目標として「みんなで創る協働のまち」を掲げ、まちづくり参加条例を制定し、住民が町政に参加しやすい体制づくりに取り組んでいます。今後は、ひがしあ

がつま創生会議や町政懇談会など、町政に住民がかかわる機会の拡充と、町政に関する情報の公開・共有を図ります。

議会関係

質問 議長の任期について2年が慣例のところ、コロナ禍で2年延びた。今回、議長は2年か。

回答 基本は2年で、選挙で議長になります。前回同じ議長で4年となったのは異例だが、それぞれの議長の判断です。現議長は2年と考えていますが、その先はまたその時に判断したいと思います。

質問 議会だよりの町長の答弁見ると「検討します」ばかりでまったくおもしろくない。議会も審議結果一覧表でほとんど全員賛成だし、答弁を見るとガッカリする。何が議員にできるかわからないが、町民のために動いていただければありがたい。なんらかのアクション起こしてくれないと、議員が何をしているのかとなってしまうのではないか。

回答 予算決算特別委員会で予算案をきちんと審議し、議員間で提案していきたいと思っています。町民の声を聞き、それぞれを踏まえながらどういう町づくりをしていくか提言していきます。

質問 今、映像で中学生議会を見た。編集したのは、どなたか。

回答 議員で全て編集しました。

意見 どこがやったのかと思った。素晴らしい。

質問 中学生議会のビデオが流れたが、中学生がどんなことを訴えたかわからない。広報などでお知らせされるのか。YouTube等で配信されるのか。

回答 議会だよりで2ページにわたって掲載予定です。録画編集については中学校側から発言者個人と発言内容を特定されたくないという要望がありました。

質問 今まで5地区で議会報告会をしていたのが、今回は午前午後で1日だけになったことの経緯は。参加者数がどうだったのか。今後どうやっていくか。

回答 今回の参加人数は40人ですが、中学校3年生を対象の議会報告も合わせると100人程度増えます。前は5地区で26人でもコロナ前でも50人くらいです。

1箇所にした理由は、議会報告会が10年経ったところで、年々参加者の固定化と減少傾向にありました。今回はなるべく新しい人にも来てもらうようにと新しい試みとして行いました。中学生議会の動画やカフェタイムなど、いろいろな方法でみなさんに興味持ってもらうのが大事なので、アンケートの回答などを参考にまた来年度以降も考えていきます。

要望 女性議員の活躍を期待します。杉並区の区長や女性議員を見習って、共感力を持って町議会の中で存在感を示し、がんばってほしい。

意見 平日夜間開催だった報告会を日曜開催にし、カフェタイムを設けるなど町民に寄り添う形にしてもらえてよかった。

意見 議員個々の意見が出せるような機会がもう少しあって欲しい。

意見 中学生議会を中学校で開催するなど、中学生の町政への関心を高めようとする努力がうかがえ、うれしく思う。現在大学生と高校生の子どもが、中学生の時に参加させていただいているが、中学生からの要望については、予算などの理由でなかなか前向きな回答が得られない印象を抱いていた。内容的に難しい面が多いことは想像できるが、1つでも何らかの対応ができたことがあれば、そのことを質問した生徒たちに伝えて欲しい。自分達の意見を取り上げてもらえたという気持ちをもってもらえることが大切だと思う。

意見 町民のさまざまな意見を参考にして日々頑張っていたいただきたい。表に出ること、上に立つことは大変だと思うが、信念を持って取り組んでいただきたい。

意見 前回出た報告会よりも和やかで雰囲気もよいと感じた。カフェタイムなど。議員がより身近に感じられると、町民も政治に対して親しい印象をもち興味を持つのではないか。こういうイベントを増やして続けていってほしい。議員・政治・まちづくりに興味を持てるようなイベントがあるといい。いわびつ汁もおいしかった。資料も見やすかった。

回答 今回の中学生議会と議会報告会は、従来の方法を改めて行いました。特に、5カ所で行った議会報告会を1カ所にしたことには様々なご意見があると認識しています。一方で、初めての参加者や若い世代の参加者の姿も見られ、町政や議会活動の一端に触れていただけたのは大きな成果でした。いただいたご意見やアンケート結果を踏まえ、来年度以降の議会報告会のあり方を協議していきます。